

第2回 浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等検討会 議事概要

1. 検討会概要

○日時：令和6年1月18日（木）15:00～17:00

○場所：海上技術安全研究所本館1階1A/オンライン（Teams）

2. 議事概要

○事務局からの説明

- ・ 議題1 検査のガイドライン（案）について
- ・ 議題2 係留張力のモニタリング手法の開発について
- ・ 議題3 将来検討すべき論点・課題の整理

○主なご意見

以下のようなご意見を踏まえて、事業を進めることになった。

- ・ 鋼製浮体における防食システムの検査・モニタリング方法について、アクセスの難しいバラスタングの検査についても情報があればまとめてほしい。
- ・ 鋼製浮体における防食システムの検査・モニタリング方法の技術基準の案は、海洋生物が付着して犠牲陽極の減少量を把握するのが難しいことも想定されるため、電位計測を基本としつつ、さまざまな方法を【解説】で記載したことは現実な方法である。
- ・ コンクリート浮体の検査・モニタリング方法については、漏水量を監視し、できるだけ早いタイミングで検知することも重要であるため、今後の検討で配慮してほしい。
- ・ 浮体の軌跡のモニタリングから係留システムの破断、アンカーのずれの検出ができており、よい傾向にある。1つのカラムから複数本の係留ラインが出る場合もあり、その場合でも検知できるか今後検討してほしい。
- ・ シャックル・リンクの強度確保の考え方は、当初想定されていなかったハイブリッド係留、摩耗防止のための太いチェーンの導入も踏まえたうえで整理してほしい。